

しのばず自然観察会より 2018-02 2018.02.18

2018年3月の活動 その1 明治神宮内苑の自然観察

と き： 3月11日(日) 小雨実施 (緑の小旗が目印し)

集 合： 午前10時 明治神宮内苑 北参道入り口

持ち物： 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

参加費： 200円

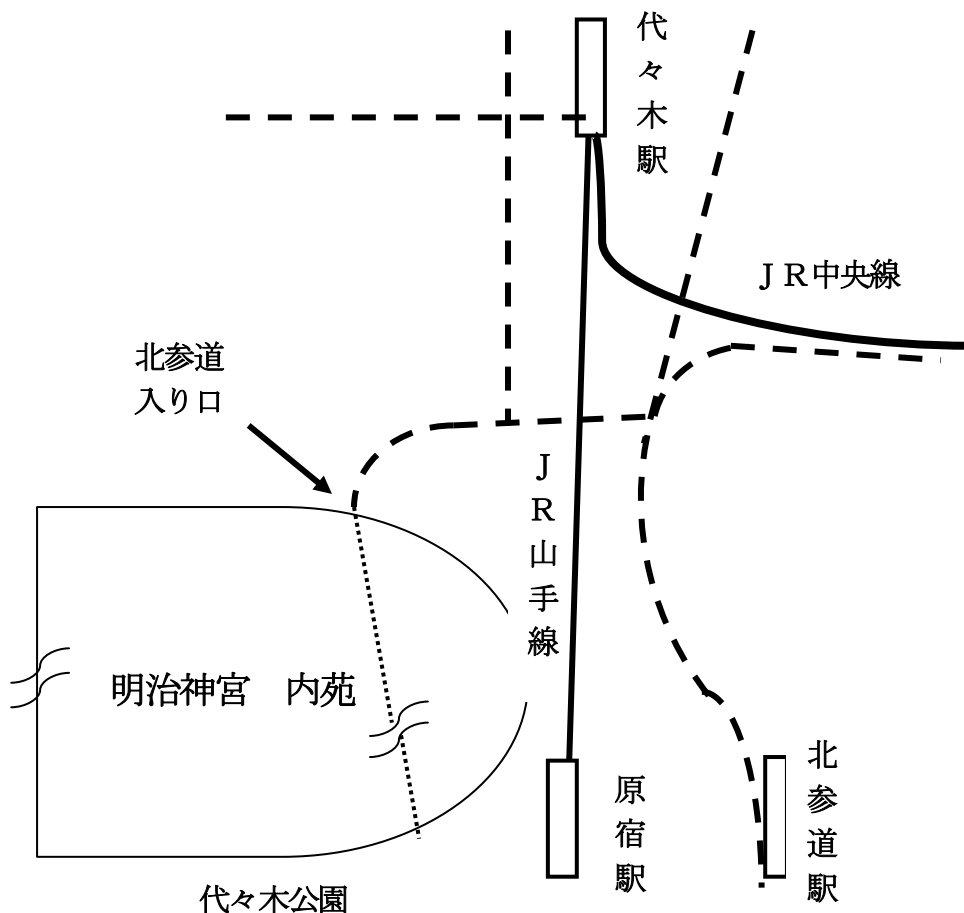
交 通： JR 代々木駅または東京メトロ副都心線北参道駅より、各500m前後

(原宿側の大鳥居からですと、内苑内を直線で約900m抜けます)

宝物館前の池のカモは旅立ったでしょうか。オオタカ・ツミは飛ぶでしょうか。

明治神宮内苑は明治天皇が崩御後、神様になって宿る場所として想定され、100年後に自然の森になるよう、常緑広葉樹林を目標に造営され、100年たたずに自然らしさが備わった所として高く評価されています。

天気良ければ、帰りに隣接する代々木公園に寄ります。当日は東日本大震災から7周年の日にあたります。自然と人間との関係性にも思いを向けましょう。



2018年3月の活動 その2 第9回『上野しのばず学習会』

テーマ：—しのばず自然観察会の歴史(1)会発足前後—

と き： 3月31日(土) 午後2時 - 4時

時 間：午後1時45分開場 学習会午後2時 - 4時 交流会と後片付け 5時まで終了

場 所：「谷中の家」台東区谷中3-17-11 路地に面した壁面を木で格子状に覆った民家です。東京メトロ千駄木駅西日暮里寄り出口より徒歩7分、またはJR・京成日暮里駅北口より徒歩10分、またはJR西日暮里より徒歩7分(地図参照)

共 催：しのばず自然観察会、上野のお山を学ぶ会

参加費：両会の会員は無料、会員外200円(資料代)



しのばず自然観察会は1975年9月15日に発足しましたが、同年1月には準備会として不忍池自然観察会を行いました。会発足の契機は二つの流れがありました。一つは東京大学本郷キャンパスで発行していたミニコミ紙「本郷-弥生あたり」の読者会、もう一つは1960年代末の東京湾新浜干潟埋め立て反対運動から生まれた「自然観察会」活動でした。さらに、1970年代前半には、京成電鉄上野地下駅改造があり、上野公園で自然保護や生活環境破壊の問題が起きました。のちのしのばず自然観察会代表幹事・小川潔が、ミニコミ紙執筆者、自然保護・環境教育活動家、上野公園の住民としてかかわっていました。

こうした前史を含め、1977-78年の不忍池カワウコロニー保存問題あたりまでのしのばず自然観察会の歩みと背景を振り返ります。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

※2017年以前の会費未納の方も忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。 ※